

### 2001年第27週報告分

- ・発生動向総覧/調査票通信/保健所通信
- ・全数届出患者数一覧表
- ・定点報告疾患集計表
- ・疾病別グラフ
- ・保健所別グラフ  
(ヘルパンギーナ・手足口病)
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表

### 2001年6月報告分

- ・発生動向総覧/調査票通信
- ・疾病別グラフ
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表
- ・医療圏別累計表

### 感染症豆知識

- ・クロイツフェルト・ヤコブ病

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/

**（全数情報）**

- ・ エルトール稲葉型によるコレラが1件報告された。推定感染地は国内だが、感染源は不明である。
- ・ 細菌性赤痢が1件報告された。フレキシネル1b型が検出され、推定感染地は台湾である。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症が11件報告された。O157が9件、O18が1件、O26が1件で、毒素産生性別ではVT1+VT2産生株が8件、VT2産生株が3件である。入院は5件である。なお、2歳女性が溶血性尿毒症症候群を併発した。  
腸管出血性大腸菌感染症の現在までの累計は120件で、昨年同時期に比べ33件増加している。例年8月頃にピークを迎えるので今後の注意が必要である。
- ・ アメーバ赤痢が2件報告された。推定感染地はタイ・インドネシアとフィリピン・中国である。
- ・ 急性ウイルス性肝炎が3件報告された。A型が2件で、その他（EBウイルス）が1件である。
- ・ HIV感染症が9件報告された。無症候性キャリアが6件で、AIDSが3件である。推定感染経路は異性間性的接触が2件、同性間性的接触が7件である。
- ・ ジアルジア症が2件報告された。1件は国内での異性間性的接触、1件は米国での経口感染が推定されている。
- ・ デング熱が1件報告された。タヒチでの感染が推定されている。

（推定される感染地は医師の届出によるものです）

**（定点情報）**

手足口病、ヘルパンギーナが増加しており、ヘルパンギーナは昨年のピークを越えた。引き続き、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、成人麻疹の報告数が多い。

**（病原体情報）**

- ・ 病原体定点から菌株で搬入されたMRSA2株はコアグラ-ゼ 型と 型で、溶血性レンサ球菌1株のT型は3型であった。
- ・ 急性細気管支炎患者の鼻汁液からRSウイルスが検出された。
- ・ 上気道炎、気管支炎、胃腸炎の患者5名の咽頭拭い液からアデノウイルスが検出された。
- ・ 無菌性髄膜炎患者3名の髄液からそれぞれムンプスウイルス2件とエンテロウイルスが、他の1名の咽頭拭い液からエンテロウイルスが検出された。
- ・ 顔面神経麻痺患者の便と咽頭拭い液からエンテロウイルスが検出された。
- ・ 胃腸炎を合併した髄膜炎患者の便と咽頭拭い液からアデノウイルスが検出された。
- ・ 手足口病とヘルパンギーナの患者各々1名の咽頭拭い液からエンテロウイルスが検出された。
- ・ 突発性発疹患者4名の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型が検出された。
- ・ 麻疹の小児4名の咽頭拭い液から麻疹ウイルスが検出され、成人麻疹患者4名（22～29才）のうち3名の咽頭拭い液から麻疹ウイルスが、他の1名の血清から麻疹ウイルス特異 IgM抗体が検出された。

- ・伝染性紅斑の患者の血清からパルボウイルスB19特異 IgM、IgG抗体が検出された。
- ・胃腸炎集団発生が1事例あり、搬入検体22件のうち8件からSRSVが検出された。

## （その他の情報）

- ・病原体情報の成人麻疹4例は院内感染が疑われる事例で、入院中に麻疹を発症した患者からの病院スタッフへの感染が推定される。4例のうち入院患者と同一フロアの者は1例のみで、感染経路ははっきりしない。病院ではワクチン接種歴を調査し、未接種者にワクチンを提供するなどの対策をとったが、ワクチン接種歴のある3名と新たにワクチンを接種した1名が発症した。
- ・今週のウイルス関連検体搬入状況は、成人麻疹の10件を含む発疹性疾患の検体が40%、上・下気道炎、脳神経疾患（髄膜炎12件）の検体が各25%を占め、その他、胃腸炎、A型肝炎、出血性膀胱炎などによるものであった。

### 調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

#### 台東区

麻疹が保育園・幼稚園で散発している。

#### 中野区

流行性耳下腺炎が持続しています。予防接種を受けた児童も罹患しましたが軽症です。なお、兄弟3人が予防接種を受けて1人だけ罹患しました。先週の時も予防接種を受けた児童は、軽症でした。小学校で流行しているため、その学校の近所の幼稚園へ問い合わせたところ、流行性耳下腺炎罹患1人だけでした。

#### 世田谷区

- 1) 母子同時発症の手足口病あり。
- 2) 流行性耳下腺炎に罹患した38歳の母（既往有り）は、子供（2週前に発症）からの感染。
- 3) 12歳女児の麻疹はワクチン未接種。感染源不明。

#### 調布市

- 1) 手足口病、ヘルパンギーナが目立ちます。
- 2) 近くの中学校で二年生のクラスで肺炎の患者が二人出たと話していた。本人も発熱と咳嗽で来院したが、肺炎の所見、胸部聴打診で異常はみられず。

#### 町田市

7月7日現在、近くの小学校で1年生の1クラス28名中12名が流行性耳下腺炎に罹患しました。他のクラスには出ていない。

### 保健所通信

保健所からのコメントを掲載

今週は、保健所からのコメントはありませんでした。

## 全数届出患者数一覧表 2001年27週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		24週	25週	26週	27週	27週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ	1			1	3
	細菌性赤痢	4	4	1	1	8
	腸チフス	1	2	2		
	パラチフス	1				
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	16	15	12	11	115
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	6	5	2	2	3
	エキノコックス症					
	黄熱					
	オウム病					
	回帰熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	3	3		3	13
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病			2		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			
	後天性免疫不全症候群	8	8	3	9	7
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症			2	2	1
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病		1			2
	デング熱				1	1
	日本紅斑熱					1
	日本脳炎					
	乳児ポツリヌス症					
	梅毒	2	2	2		4
	破傷風					1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				
	ハンタウイルス肺症候群					
Bウイルス病						
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア	2				1	
ライム病					1	
レジオネラ症					1	

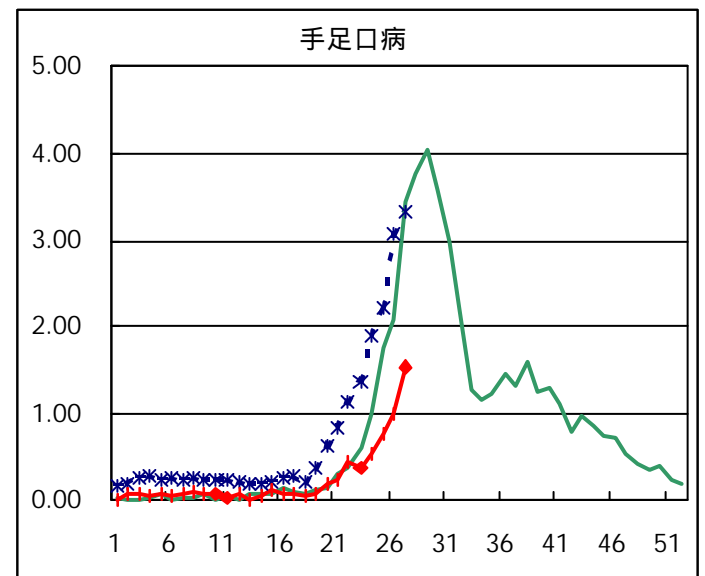
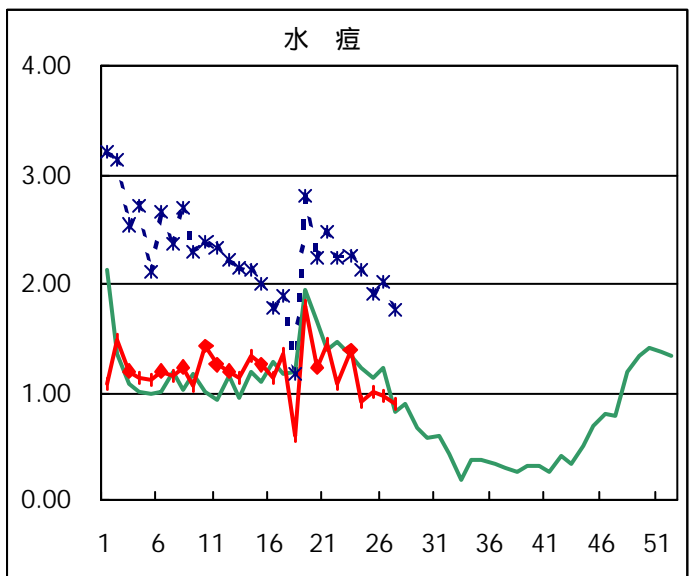
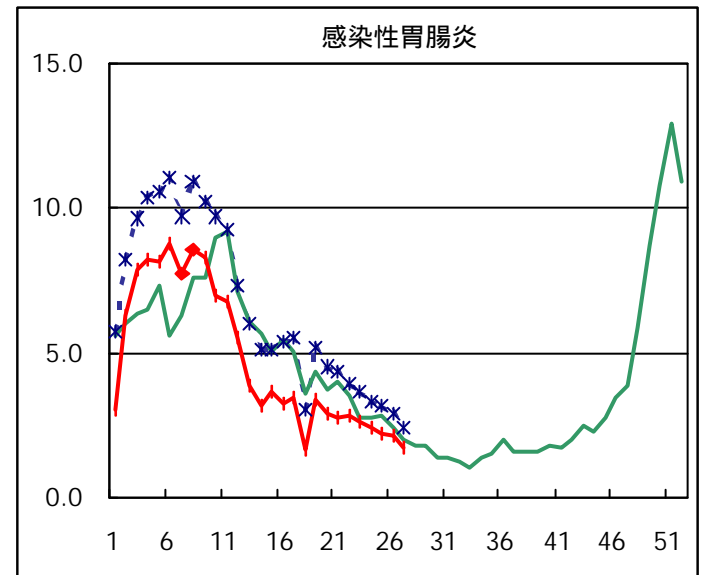
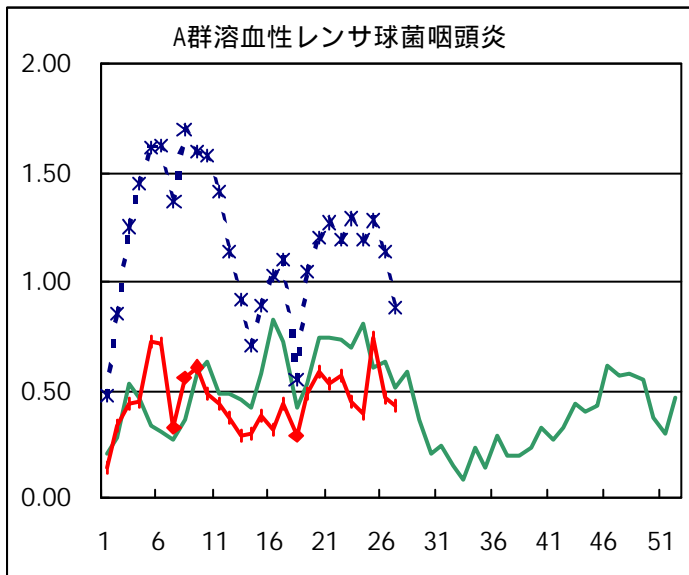
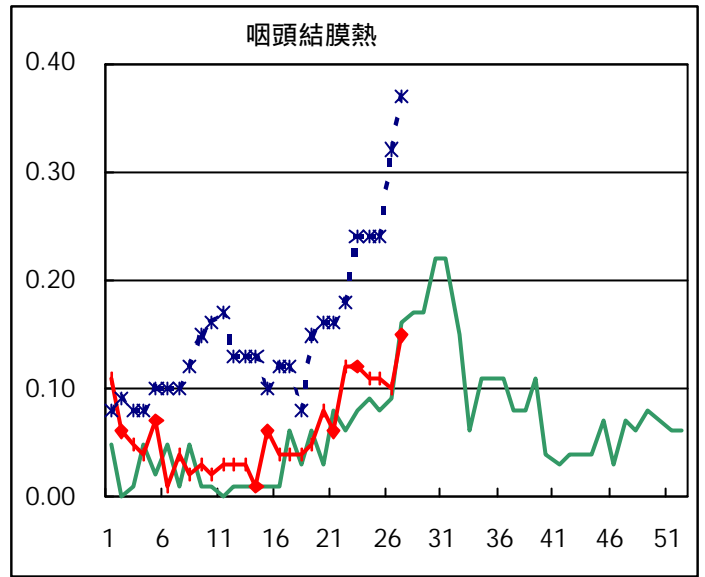
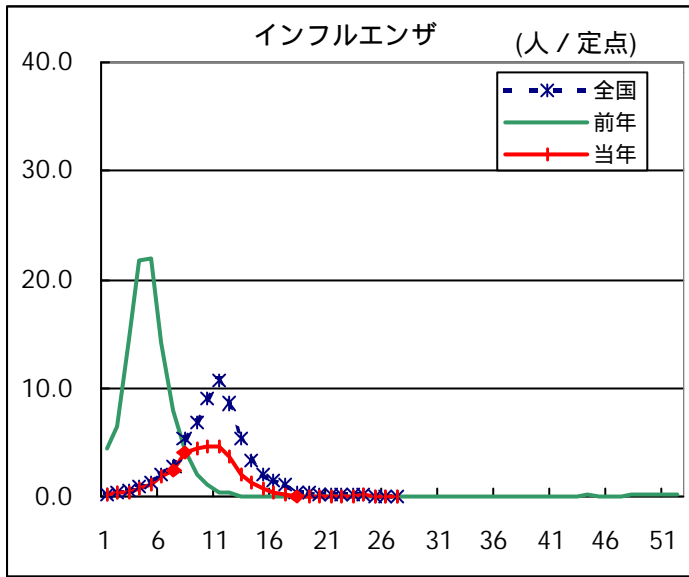
東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/07/11集計)

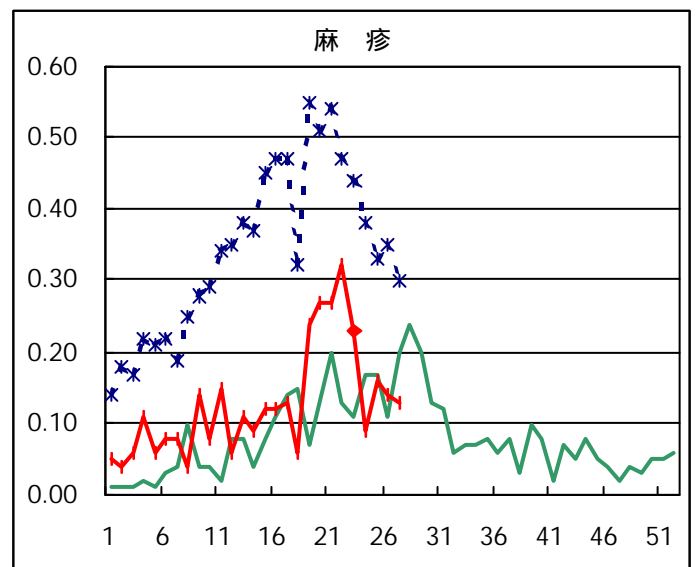
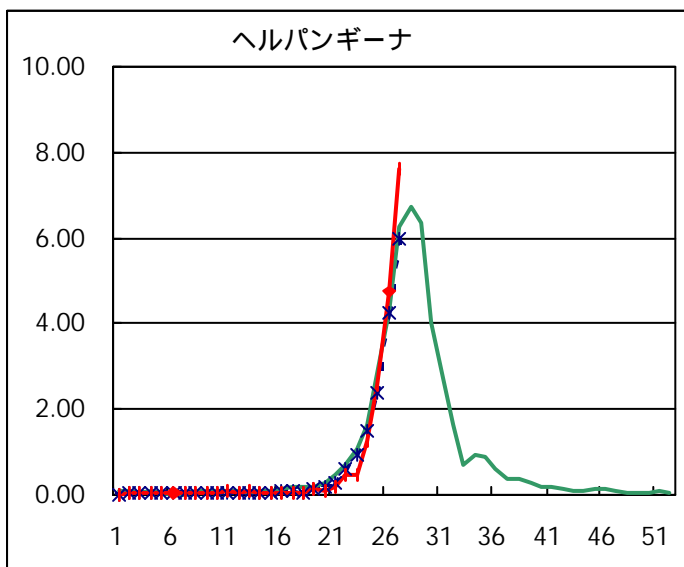
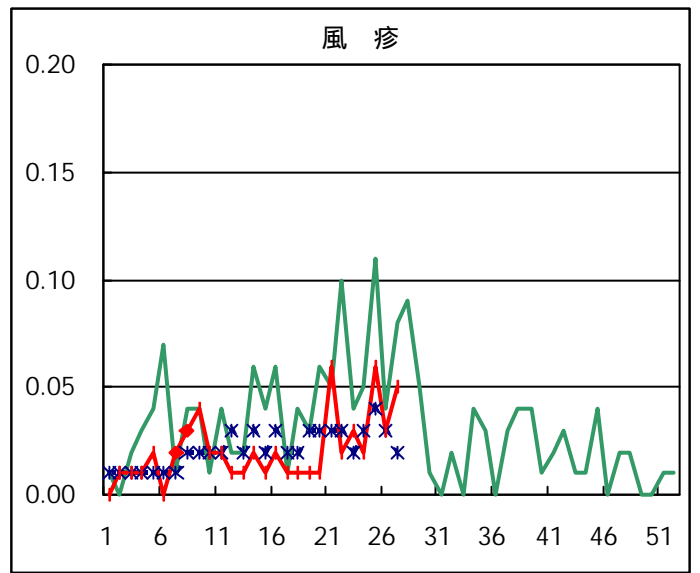
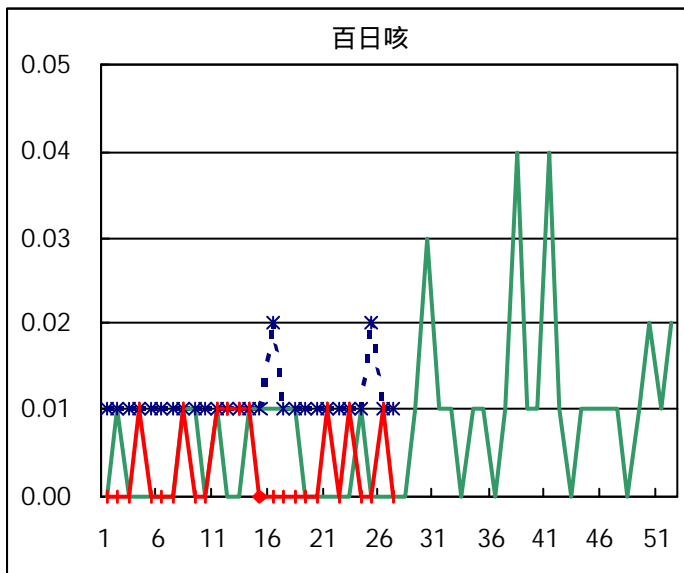
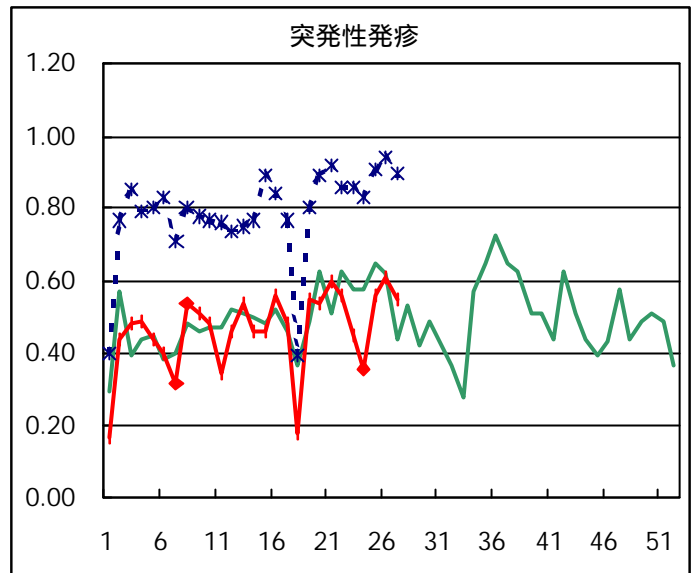
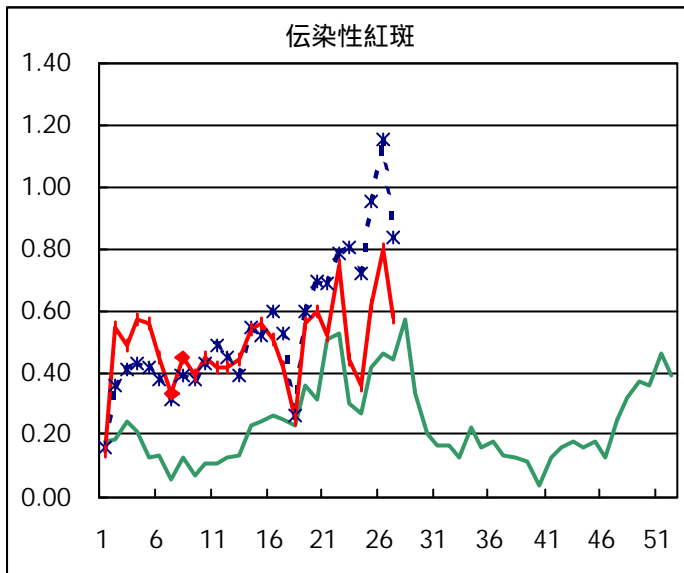
## 定点報告疾病集計表（男女別）

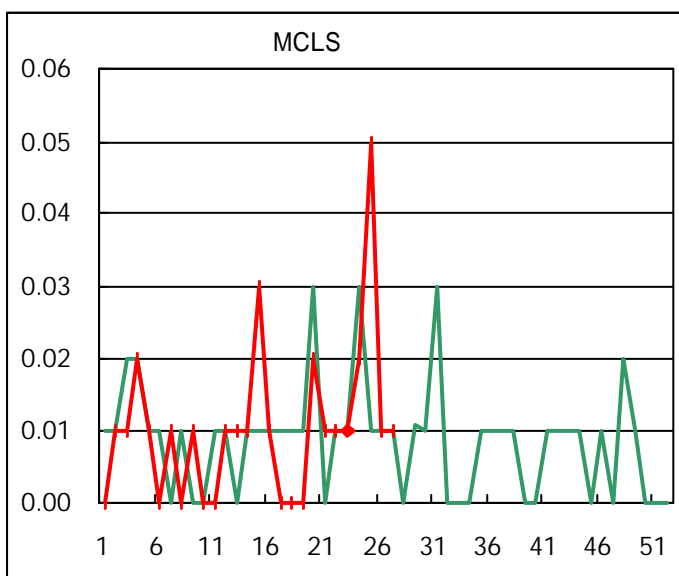
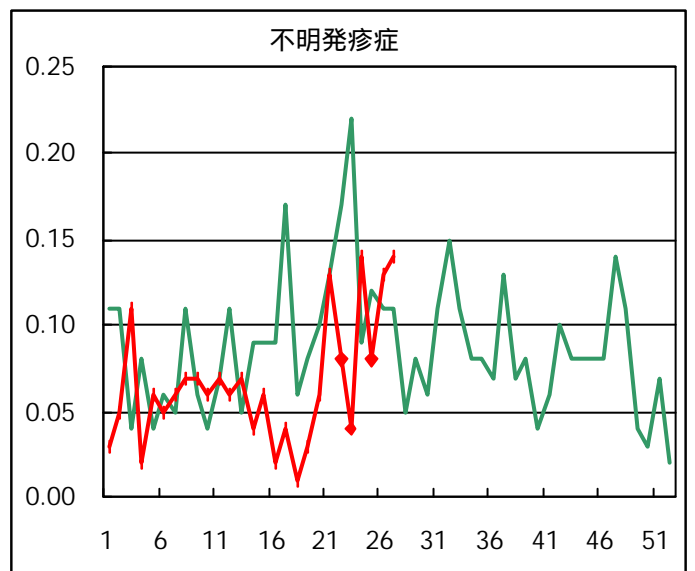
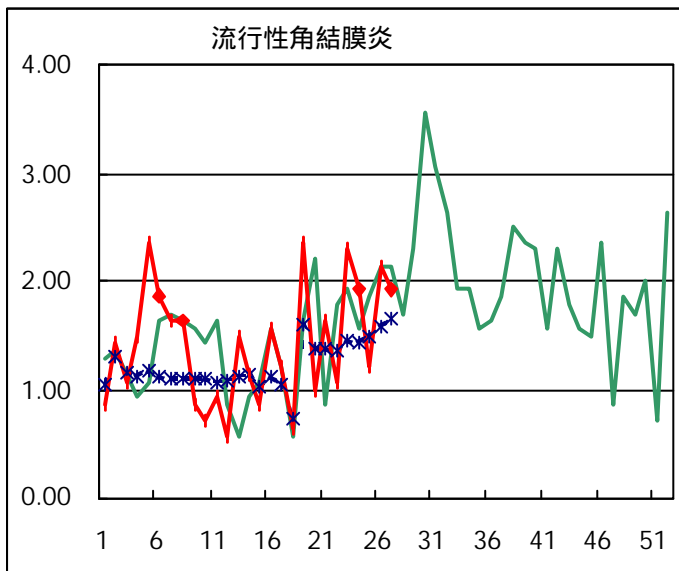
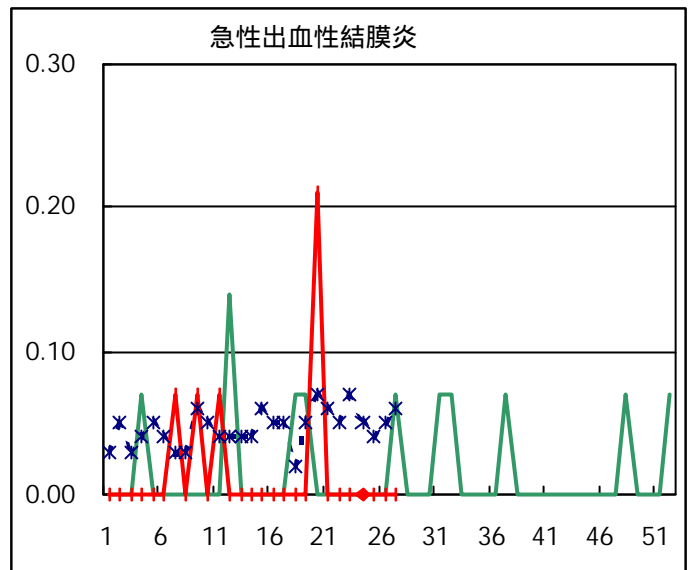
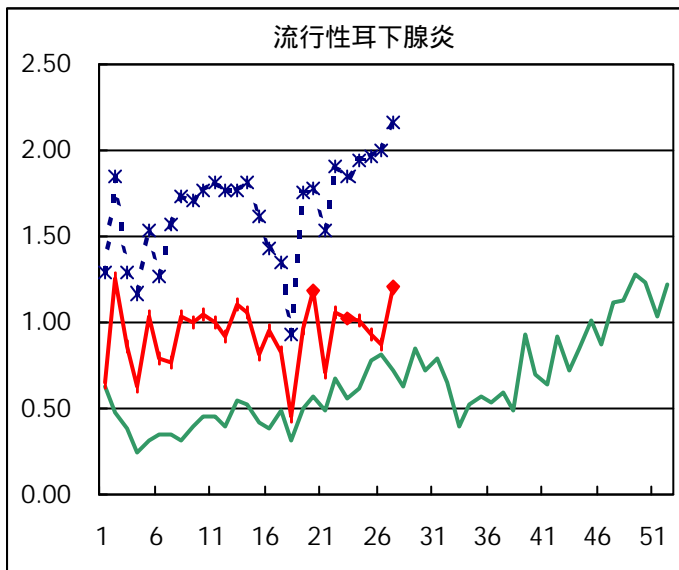
疾病名	性	2001年 週				累計
		24	25	26	27	
インフルエンザ	男	13	6			19
	女	7	6		1	14
咽頭結膜熱	男	9	6	8	11	34
	女	7	9	6	10	32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	31	63	39	35	168
	女	24	43	28	26	121
感染性胃腸炎	男	188	169	162	125	644
	女	160	149	148	123	580
水痘	男	72	71	79	66	288
	女	57	73	60	60	250
手足口病	男	43	54	82	119	298
	女	33	57	61	99	250
伝染性紅斑	男	25	43	61	32	161
	女	26	46	53	50	175
突発性発疹	男	28	44	49	38	159
	女	23	38	38	40	139
百日咳	男			1		1
	女					
風疹	男	3	4	3	3	13
	女		4	1	4	9
ヘルパンギーナ	男	89	203	329	576	1197
	女	89	160	347	510	1106
麻疹(成人以外)	男	8	10	9	8	35
	女	5	13	11	10	39
流行性耳下腺炎	男	76	76	55	95	302
	女	69	58	70	76	273
不明発疹症	男	14	7	9	10	40
	女	6	5	10	10	31
MCLS	男	1	2		1	4
	女	2	5	1		8
急性出血性結膜炎	男					
	女					
流行性角結膜炎	男	12	8	17	14	51
	女	17	9	13	13	52
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男		1	1	1	3
	女			1		1
マイコプラズマ肺炎	男					
	女			1		1
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	2	12	2		16
	女	2	6	5	9	22

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

# 疾病別グラフ

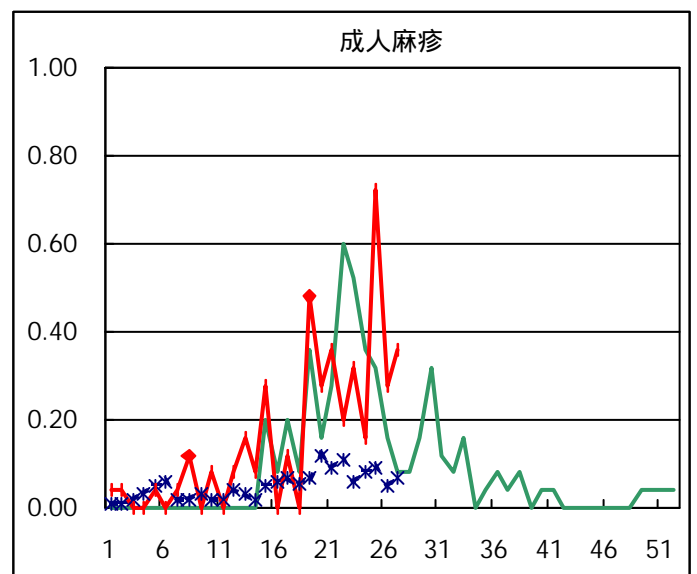
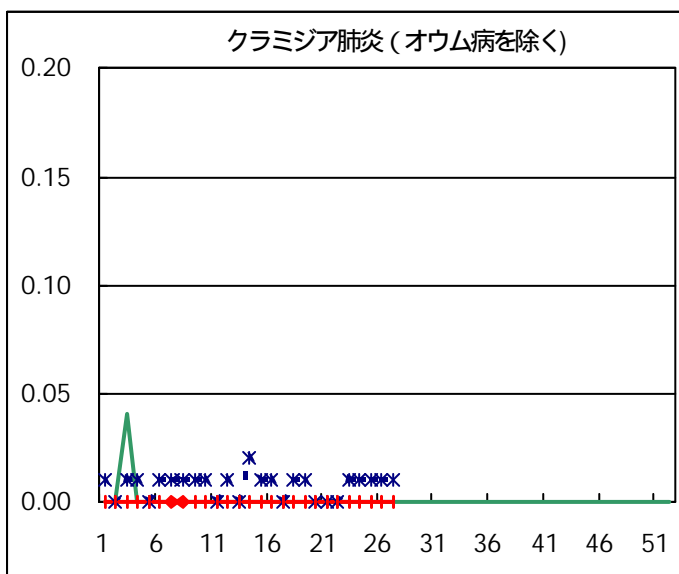
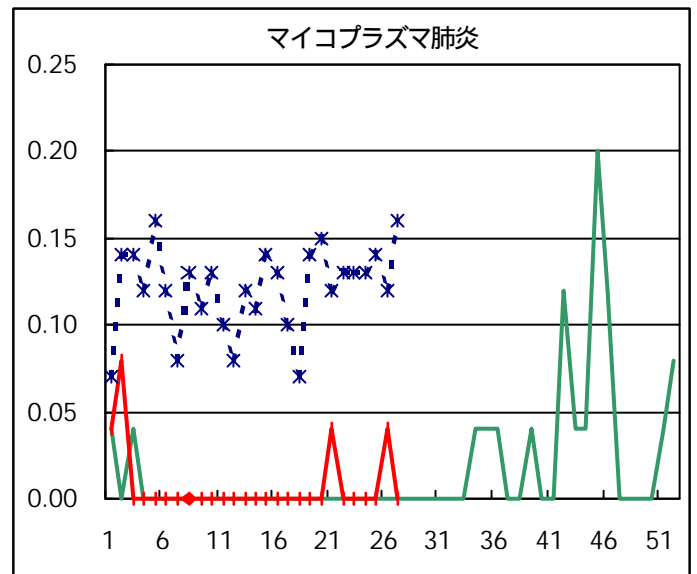
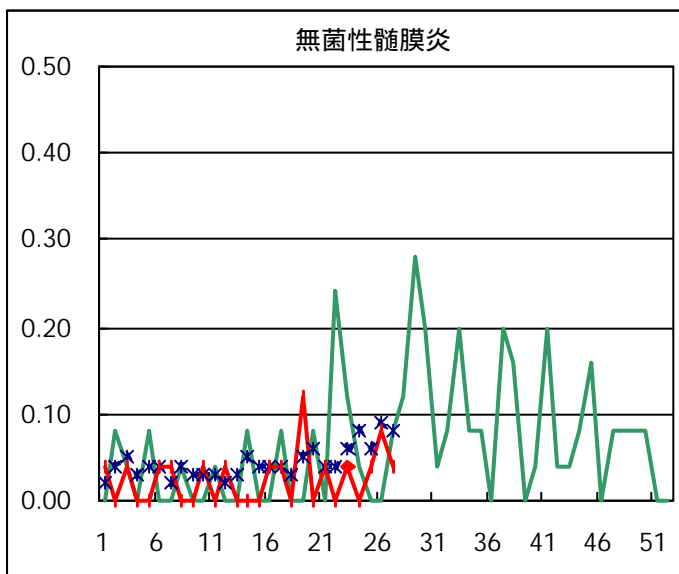
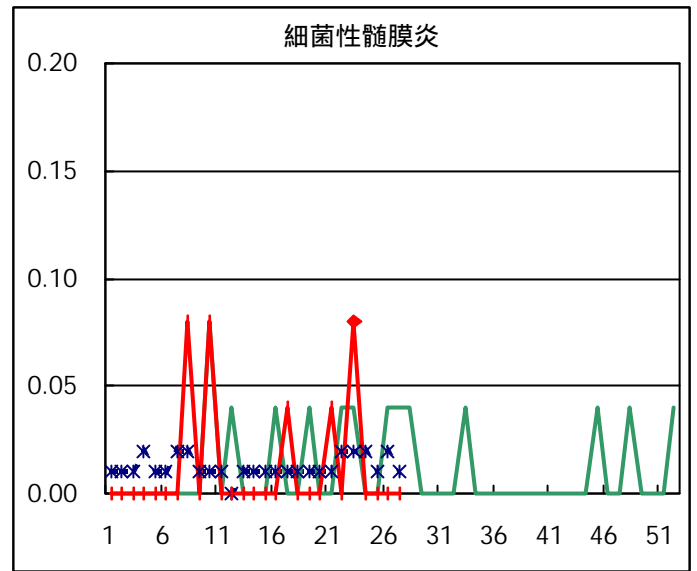
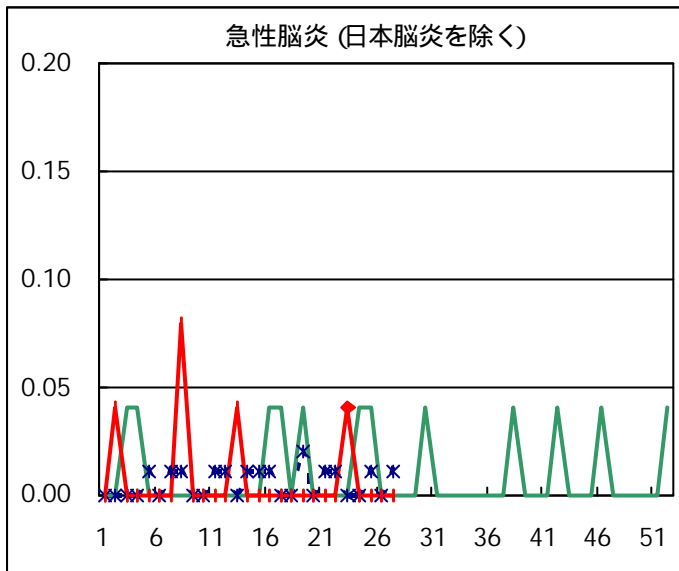






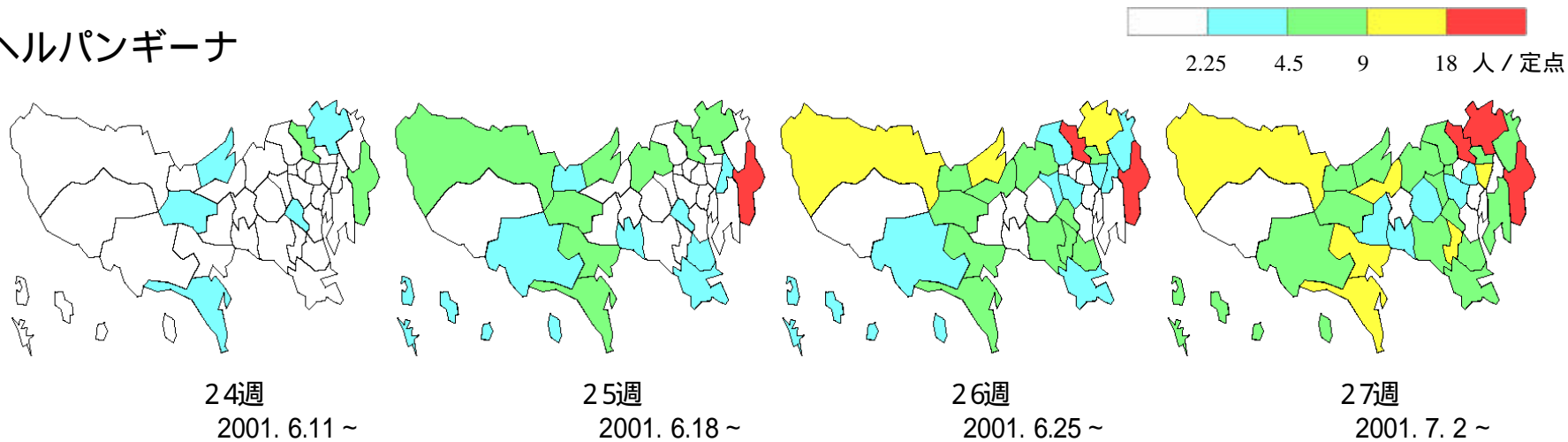
疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	
上記を除く疾病	142



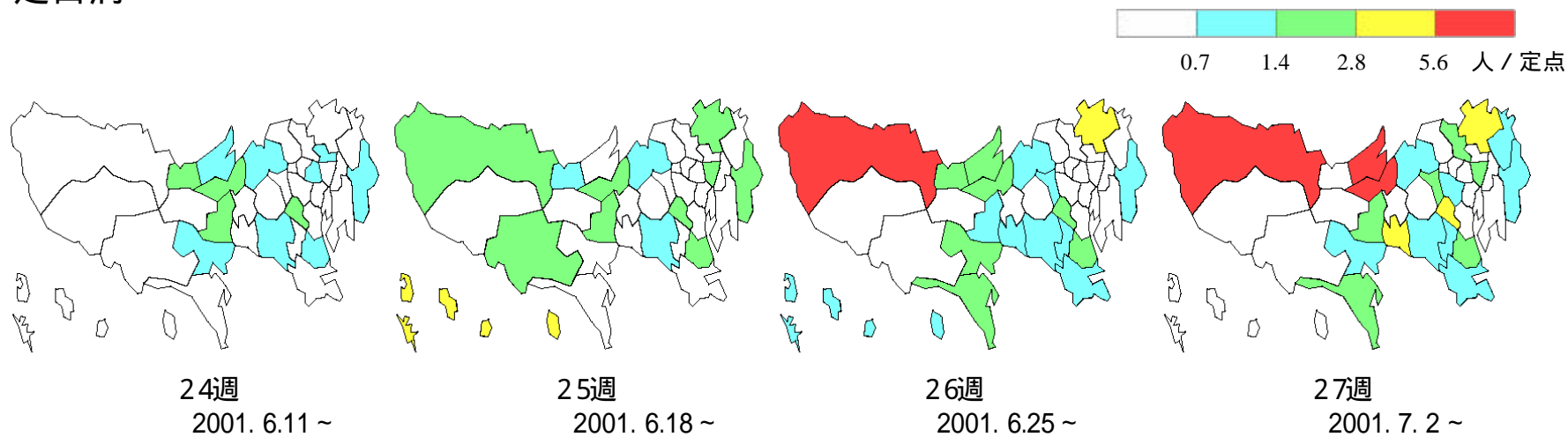


# 保健所別定点当たり患者報告数推移

## ヘルパンギーナ



## 手足口病



### 年齢階級別累計表 (2001年 27週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月				1	1	1	2	8			5				1		
～1歳				12	9	9	5	48			67	2				2	
1歳				16	10	29	6	21			203	4	4			4	
2歳		2	1	23	17	30	4			2	179		6			3	
3歳		6	5	26	30	40	11			2	188	2	21			2	
4歳		5	12	19	25	43	16	1		1	163		37			3	
5歳		1	8	25	12	33	12				116		23			1	
6歳		4	7	19	11	11	6			1	75		18			1	1
7歳		2	11	14	6	6	3				33	1	20			1	
8歳		1	4	8	1	6	2				14		18			1	
9歳			2	7	1		7				12	1	6				
10～14歳			1	22	3	4	3			1	15	7	7		1	1	
15～19歳			3	11							3		3				
20～29歳	1		7	45		6	5				13	1	8		8	1	
30～39歳															6		
40～49歳															2		
50～59歳															5		
60～69歳															1		
70～79歳															3		
80歳以上																	
合計	1	21	61	248	126	218	82	78	0	7	1086	18	171	0	27	20	1
先週比	1	7	-6	-62	-13	75	-32	-9	-1	3	410	-2	46	0	-3	1	0

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年27週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央				1	2	1	1				3	1	2					11
世田谷	1	5		13	8	18	5	3		5	62	1	5			1		127
渋谷区		1		20	1	13	5	5			25		5					75
池袋					1	1					2		3		10			17
長崎					1		2	1			7							11
荒川				1		1	2				15	1	1					21
足立			3	14	8	17	6	3			84		6					141
葛飾		1	2	12	6	5	3	2			27		6					64
江戸川		1	5	7	5	5	1	3			157		4					188
台東			11	12	6	5	3	3			39	2	5					86
目黒区		4	2		2	3	2	2			31		2					48
大田区		3	5	14	8	11	2	7			63		28			8		149
杉並			2	9	7		3	3			14	2	1					41
北区		1	2	6	7	6	2	1			113		10					148
板橋区					2	3	6	5			28		6					50
みなと					8	2		2			12		1		1		1	27
中野区				27	3	11	8	1			32		15					97
新宿区		1	6	10	1	6		5			20	1	2		13	1		66
品川区				15	4	15	4	4			38	1	1			2		84
千代田				2			1				8	2						13
練馬区			6	2	2	5	2	9			32		11			3		72
文京			2	3	1	1	1			1	13	1	3					26
墨田区		2			2		2	1			6	1	1					15
江東区			4	5	3	2				1	21	1	2		1			40

保健所別累計表 (2001年27週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子			1		1	1	4	2			10		3					22
町田			1	18	2	3	9	1			19		7		1	3		64
島しょ					2						5		8					15
多摩川			2	3	8	24	2	5			33	2	9					88
秋川																		
南多摩			1	14	1	3	1	1			45	1	4					71
多摩立川				7	4	1	1				19		4					36
村山大和				3	1						13				1			18
府中小金井				1	4	7		2			12	1	6					33
狛江調布		2		3		11					10		1					27
三鷹武蔵野			5	4	4			1			6		2			1		23
多摩小平				11	8	18	3	1			39		5					85
多摩東村山			1	11	3	19	1	5			23		2			1		66

東京都合計	1	21	61	248	126	218	82	78	-	7	1086	18	171	-	27	20	1	2165
定点当り報告数	0.01	0.15	0.43	1.75	0.89	1.54	0.58	0.55	-	0.05	7.65	0.13	1.20	-	1.93	0.14	0.01	

## 発生動向総覧（月報告分） 2001年6月分

### （性感染症）

性器クラミジア、淋病様疾患の患者報告数は、3月以来増加している。尖形コンジロームの報告数は前月に比べてやや減少したがトリコモナスと性器ヘルペスは変わらない。

梅毒様疾患の報告数は前月と同じであるが、前年同期と比べると1 / 3である。

### （基幹定点疾病）

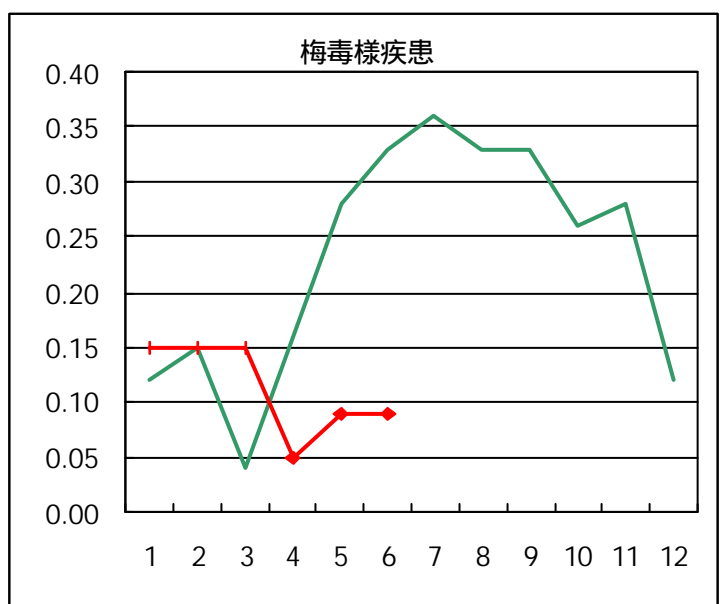
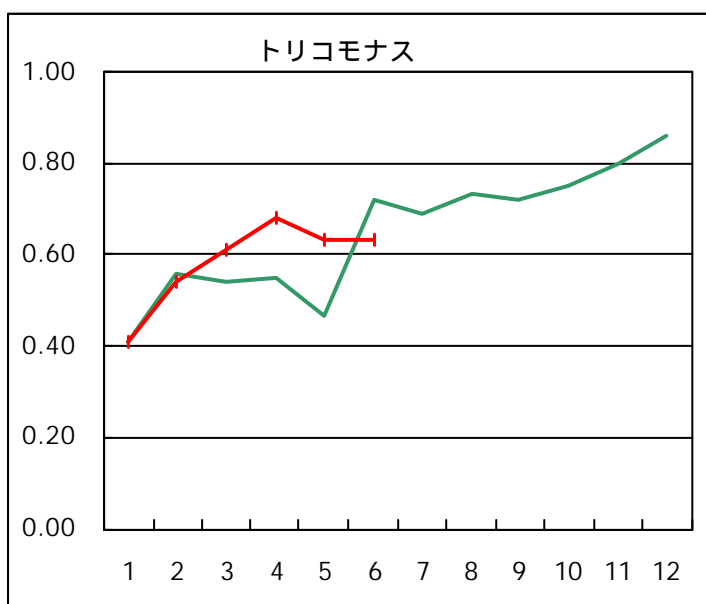
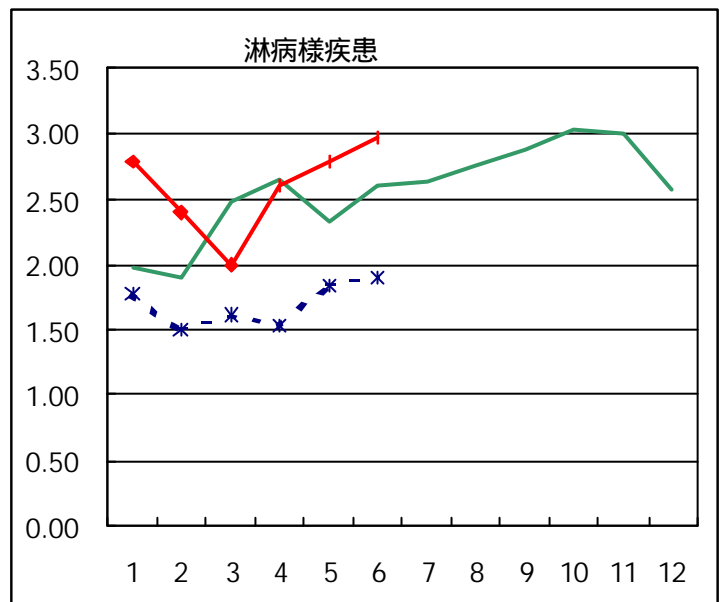
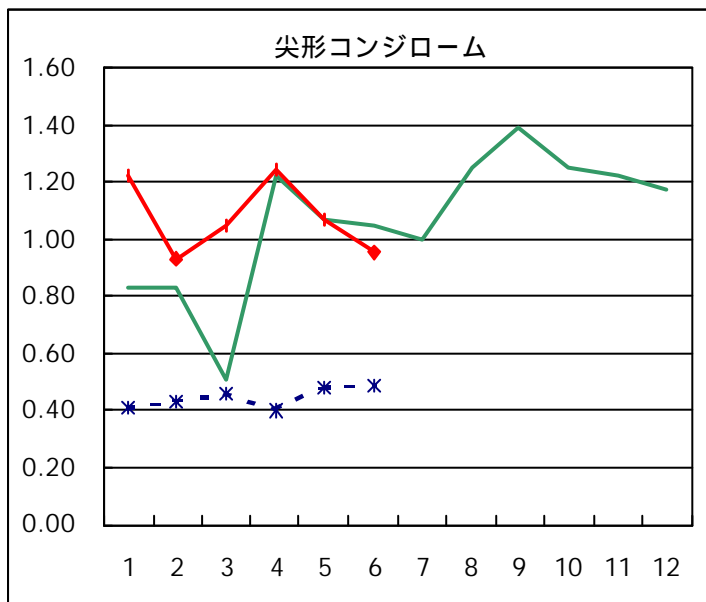
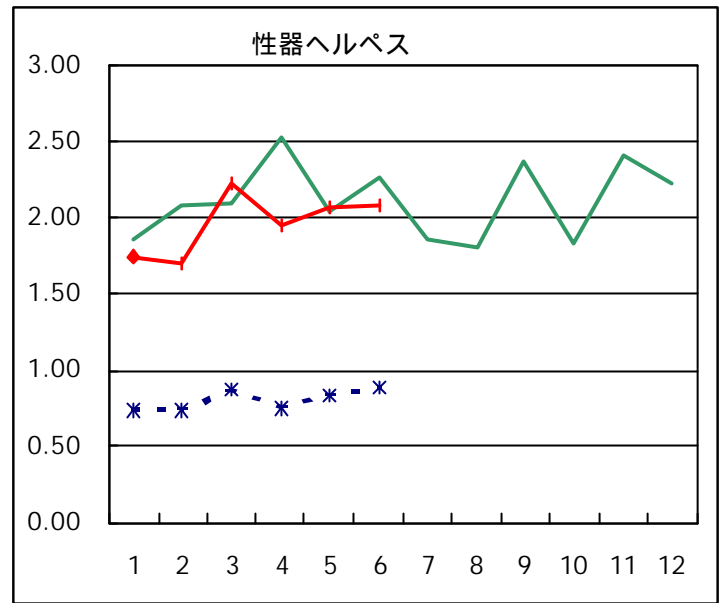
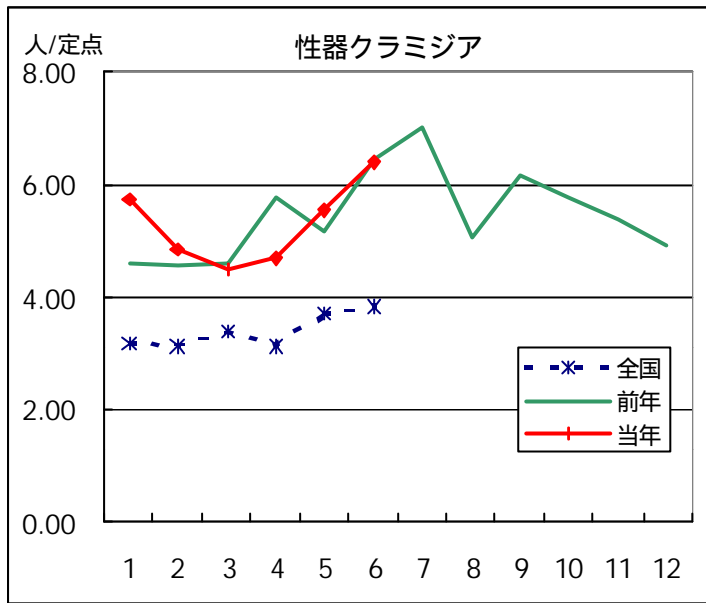
前月に比べメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の患者報告数はやや増加したが、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症及び薬剤耐性緑膿菌感染症の報告数は減少した。

## 調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

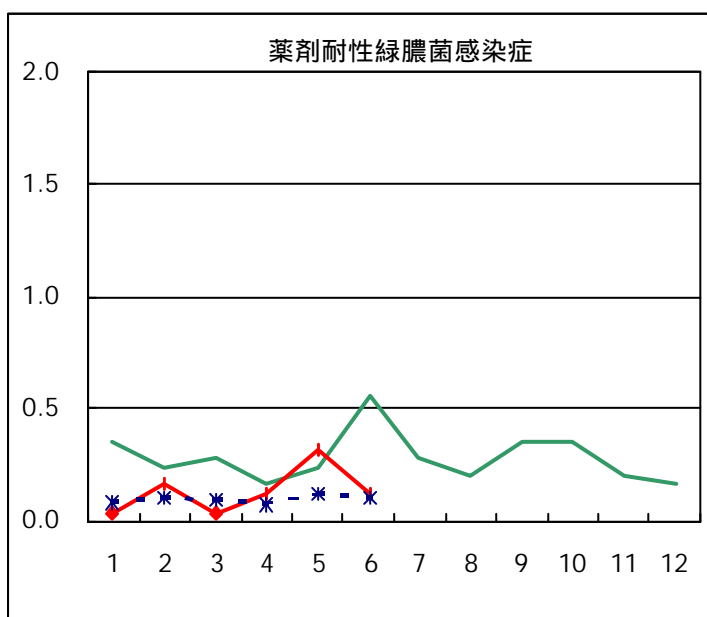
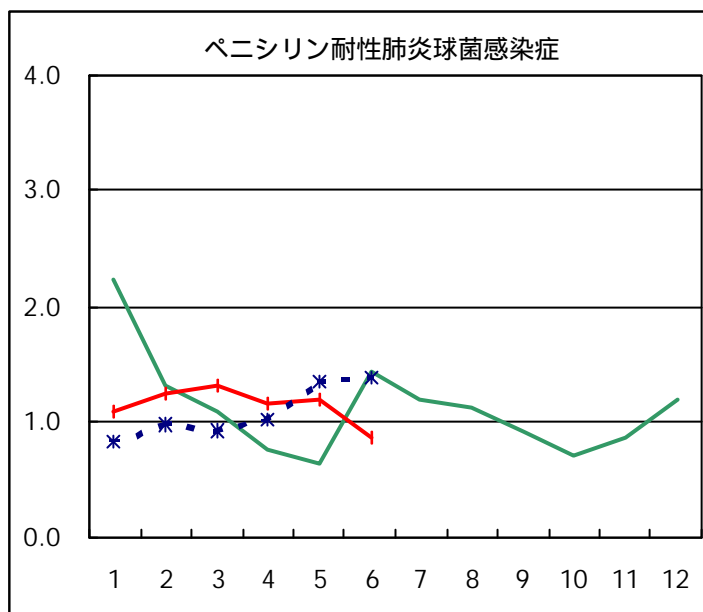
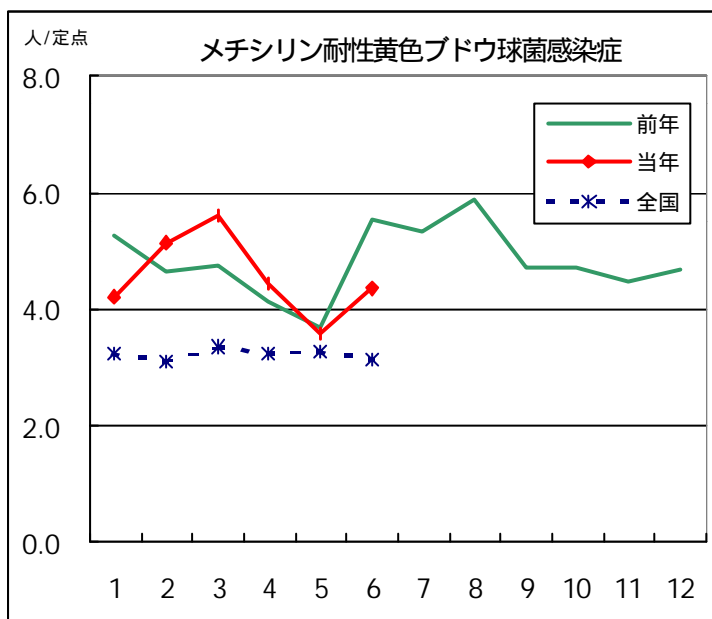
今月は、定点医療機関からのコメントはありません。

# 疾病別グラフ



基幹定点報告疾患集計 (2001年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	105	129	140	111	89	109							683
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	27	31	33	29	30	22							172
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	4	1	3	8	3							20



疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
梅毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	



### S T I 保健所別累計表（6月）

男								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			4	3	2	3	12
渋谷区	3			9				9
池袋	3		2	23	8	6	7	46
荒川	1							
足立	1				2		6	8
台東	5						1	1
大田区	3					1		1
北区	1					1	2	3
板橋区	2			6			1	7
みなと	2			11	4		9	24
中野区	1		1	9	1			11
新宿区	5			33	6	4	19	62
品川区	1			2				2
文京	1							
墨田区	1			7	1	1	4	13
江東区	2			24	6	4	33	67
八王子	3							
町田	1							
多摩立川	2			2			9	11
三鷹武蔵野	1			11	4	3	9	27
総計	41		3	141	35	22	103	304
定点当り		0.00	0.07	3.44	0.85	0.54	2.51	7.41

女								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2							
渋谷区	3							
池袋	3	2		17	2	2	4	27
荒川	1	1		1	1	2		5
足立	1							
台東	5	13		30	19	3	2	67
大田区	3							
北区	1							
板橋区	2							
みなと	2	1	1	11	4	1	2	20
中野区	1							
新宿区	5	1		22	14	8	3	48
品川区	1				1			1
文京	1							
墨田区	1							
江東区	2			3			1	4
八王子	3	2		22	1	1		26
町田	1	3		1	1			5
多摩立川	2	3		5	1		5	14
三鷹武蔵野	1			9	7		2	18
総計	41	26	1	121	51	17	19	235
定点当り		0.63	0.02	2.95	1.24	0.41	0.46	5.73

STI保健所別定点当り累計表（6月）

男							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	大腸 コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2			2.00	1.50	1.00	1.50
渋谷区	3			3.00			
池袋	3		0.67	7.67	2.67	2.00	2.33
荒川	1						
足立	1				2.00		6.00
台東	5						0.20
大田区	3					0.33	
北区	1					1.00	2.00
板橋区	2			3.00			0.50
みなと	2			5.50	2.00		4.50
中野区	1		1.00	9.00	1.00		
新宿区	5			6.60	1.20	0.80	3.80
品川区	1			2.00			
文京	1						
墨田区	1			7.00	1.00	1.00	4.00
江東区	2			12.00	3.00	2.00	16.50
八王子	3						
町田	1						
多摩立川	2			1.00			4.50
三鷹武蔵野	1			11.00	4.00	3.00	9.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	大腸 コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2						
渋谷区	3						
池袋	3	0.67		5.67	0.67	0.67	1.33
荒川	1	1.00		1.00	1.00	2.00	
足立	1						
台東	5	2.60		6.00	3.80	0.60	0.40
大田区	3						
北区	1						
板橋区	2						
みなと	2	0.50	0.50	5.50	2.00	0.50	1.00
中野区	1						
新宿区	5	0.20		4.40	2.80	1.60	0.60
品川区	1				1.00		
文京	1						
墨田区	1						
江東区	2			1.50			0.50
八王子	3	0.67		7.33	0.33	0.33	
町田	1	3.00		1.00	1.00		
多摩立川	2	1.50		2.50	0.50		2.50
三鷹武蔵野	1			9.00	7.00		2.00

S T I 年齢階級別累計表 ( 6 月 )

男						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			5	2	2	3
20～24歳			33	5	5	20
25～29歳		1	36	6	6	27
30～34歳		2	29	8	3	19
35～39歳			13	6	5	17
40～44歳			8	3		6
45～49歳			3	1		5
50～54歳			7	2	1	4
55～59歳			2			2
60～64歳			1	2		
65～69歳			2			
70～歳			2			
合計	0	3	141	35	22	103
先月数	1	3	110	34	23	94
増減数	-1	0	31	1	-1	9

女						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	3		14	3	4	4
20～24歳	3		37	10	7	6
25～29歳	8	1	35	16	5	7
30～34歳	1		21	6		2
35～39歳	4		5	6		
40～44歳	2		4	4		
45～49歳	1		5	2	1	
50～54歳	2			3		
55～59歳	1			1		
60～64歳						
65～69歳	1					
70～歳						
合計	26	1	121	51	17	19
先月数	25	1	118	51	21	20
増減数	1	0	3	0	-4	-1

2次医療圏別累計表（平成13年6月） 総計 患者報告数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
区中央部	14	1	56	30	6	17	124
区南部			2	1	1		4
区西南部			9				9
区西部	1	1	64	21	12	22	121
区西北部	2	2	46	10	9	14	83
区東北部	1		1	3	2	6	13
区東部			34	7	5	38	84
西多摩							
南多摩	5		23	2	1		31
北多摩西部	3		7	1		14	25
北多摩南部			20	11	3	11	45
北多摩北部							
島しょ							
計	26	4	262	86	39	122	539

2次医療圏別累計表（平成13年6月） 総計 定点当たり発生数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	定点数
区中央部	1.27	0.09	5.09	2.73	0.55	1.55	11
区南部			0.50	0.25	0.25		4
区西南部			3.00				3
区西部	0.17	0.17	10.67	3.50	2.00	3.67	6
区西北部	0.33	0.33	7.67	1.67	1.50	2.33	6
区東北部	0.50		0.50	1.50	1.00	3.00	2
区東部			17.00	3.50	2.50	19.00	2
西多摩							0
南多摩	1.25		5.75	0.50	0.25		4
北多摩西部	1.50		3.50	0.50		7.00	2
北多摩南部			20.00	11.00	3.00	11.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	0.63	0.10	6.39	2.10	0.95	2.98	41

## クロイツフェルト・ヤコブ病

東京都医師会感染症予防検討委員会

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）は、痴呆、ミオクローヌス、無動性無言などを特徴とする進行性の神経疾患である。

原因は異常プリオン蛋白と考えられる。プリオンは正常にも存在する膜タンパクだが、異常プリオンと接触すると、分解されにくい異常蛋白に変わり、細胞内に蓄積する。

病型には、原因不明の孤発性CJD、プリオン遺伝子異常による家族性CJD、若年者に多く特異な病型を示す新変異型CJDがある。感染症法の届出では、進行性小脳症状が特徴的なゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー症候群、致死性家族性不眠症もこれに含める。

最近では、ヒト乾燥硬膜によるCJDと新変異型CJDが新聞等で話題になっている。

ヒト乾燥硬膜によるCJDは国内で既に70名以上の発症があり、アルカリ処理以前の旧ライオデュラの移植を受けていた。

新変異型CJDは、若年に多く発症し、急速に進行するが、他のCJDに特徴的な周期性同期性放電は見られない。イギリスで初めて報告され、狂牛病との関係が疑われている。

CJDの診断には臨床症状に加えて、脳波、髄液の14-3-3タンパクなどが参考になる。治療は対症療法が中心である。

感染症法では四類感染症全数把握疾患であり、診断した場合には7日以内に最寄りの保健所に届け出る。からのどの病型に該当するかを含め、報告基準を満たしていることが必要である。

また、CJDは厚生労働省の特定疾患治療研究事業として医療費助成の対象となっており、東京都でも各種の難病患者の施策サービスを行っている。

（文責・松木一雅）